

## 育児休業に関する体験記 1

20 代      36 日間取得

<p>① 家事 ・ 育児 について</p>	<p>1. 育児休業前に、夫婦で家事・育児の分担をどのように話し合い、行ったか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・料理、洗濯、掃除等の家事全般をできる限り行うように心がけ、手の回らない場合は妻と協力しながら家事を行いました。</li> <li>・育児に関して夜間早朝の対応や入浴、離乳食を作る、食べさせる等を妻と協力しながら行いました。</li> </ul> <p>2. 育児休業後の家事・育児の参画の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・休業中に比べると時間の制限があるため、時間の使い方や事前の準備を意識するようになり、より家事・育児への意欲が高まりました。</li> </ul> <p>(妻 記載欄) 休業取得者の家事・育児の参画の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・深夜帯や早朝などの対応を行ってもらえたおかげで体力的負担が軽減しました。</li> <li>・家事について普段一人で行っていることも手が増えたおかげで時間と気持ちに余裕をもって行うことができました。</li> </ul>
<p>② 仕事 について</p>	<p>1. 休業取得前、仕事の引継ぎはどのように行ったか</p> <p>現場単位の仕事のため担当の現場が終了し休業しやすいタイミングで取得できました。</p> <p>2. 評価・反省</p> <p>建設業に限らず他業種でも担当している仕事がある場合に途中で引き継いで休業するのは多少の不安・心配があると思います。休業中は家事・育児に専念するため不安要素を残さないように引き継ぎや担当業務を終えることが大事だと感じました。</p>

<p>③ 自由 記述 (400 字程度)</p>	<p>(取得者 記載欄) (例：育児休業取得の経緯、育休を終えての所感、周囲の反応)</p> <p>育児休業取得の理由としては、妊娠中から産後と体調の不安定な状態が続いていた妻の負担を軽減させたいこと、また家族との時間を大切にしたいと思ったこと、以上の2つが取得を規模した大きな理由でした。1か月ほどの短い期間ではありましたが、育児と家事を両立することの難しさとその反面子供の成長していく姿を間近で見ることのできる喜びを感じられたことはとても貴重な経験だったと思います。また休業期間中は職場復帰後の生活をどのように工夫すれば上手く回るかをゆっくり考えることができ、復帰後の現在も大変さはありますが休業中の経験を活かすことができていると感じています。</p> <p>育児休業を終えて今感じることは、育児を行いながら家事を同時に進めることは非常に難しく、時間の使い方などを工夫しながらまた妻とコミュニケーションをまめに取りながら生活することが大切だということです。育児を行っている子供にばかり目が行きがちですが、妻の負担や悩みなどにも気を配り夫婦2人で子供を育てるという意識を強く持ち今後の日々を過ごしていきたいと思います。また育児休業取得に際して会社からは快く承諾してもらい、手続きや休業しやすい環境の整備など様々なサポートをしていただきとても感謝しています。今後取得される方や育児について不安などがある方へ微力ですが助けになれるよう今後も努めていきたいです。</p>
--	---